



平成28年8月2日

福岡県内経済情勢報告

平成28年8月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局 経済調査課

TEL 092-411-7281 (代表)

FAX 092-452-1318


福岡県内経済情勢報告(平成 28 年7月)

I 総論









県内経済は、平成 28 年 (2016 年) 熊本地震による影響はみられるものの、緩やかに回復しつつある。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、景気回復の動きが確かなものとなることが期待される。ただし、中国等の海外景気の下振れなど景気を下押しするリスクや英国のEU離脱問題の影響のほか、熊本地震による影響からの回復の動きなどに注視する必要がある。

【総括判断】

項目	前回(28年4月判断)	今回(28年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
総括判断	緩やかに回復しつつある	平成 28 年(2016 年)熊本地震による影響はみられるものの、緩やかに回復しつつある		個人消費は熊本地震による影響は一部にみられるものの、基調としては緩やかに回復しつつあり、生産は熊本地震による影響はみられたものの、持ち直している。また、雇用は改善している。

【各項目の判断】

項目	前回(28年4月判断)	今回(28年7月判断)	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	熊本地震による影響は一部にみられるものの、基調としては緩やかに回復しつつある	
生産活動	持ち直している	熊本地震による影響はみられたものの、持ち直している	
設備投資	27年度は増加見込み	28年度は増加見通し	
雇用情勢	改善している	改善している	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を上回っている	
輸出	前年を下回っている	前年を下回っている	
企業収益	27年度は増益見込み	28年度は減益見通し	

(注) 28年7月判断は、前回4月判断以降、足下(7月末)の状況までを含めた期間で判断している。

II 各論

個人消費 【熊本地震による影響は一部にみられるものの、基調としては緩やかに回復しつつある】

個人消費をみると、百貨店・スーパー販売額は、熊本地震の影響により多くの品目で動きが弱く、全体では前年を下回っているものの、飲食料品や夏物衣料等に動きがみられている。コンビニエンスストア販売額は、新規出店や新商品投入の効果などから前年を上回っている。乗用車販売は、全体では前年を下回っているなか、低燃費車が好調であることなどから普通車や小型車では前年を上回っている。家電販売は、引き続き機能性の高い白物家電が好調であることなどから、前年を上回っている。

生産活動 【熊本地震による影響はみられたものの、持ち直している】

生産活動を主要業種でみると、鉄鋼は、熊本地震による供給先の生産停止などの影響はみられたものの、海外向けの軌条や自動車用鋼材が好調なことなどから、持ち直している。電子部品・デバイスは、熊本地震による生産停止の影響がみられたほか、スマートフォン向けが低調なことなどから、弱い動きとなっている。輸送用機械の自動車は、熊本地震による生産停止の影響はみられたものの、海外向け新型車の投入効果などにより、持ち直している。

設備投資 【28年度は増加見通し】

設備投資を法人企業景気予測調査（28年4～6月期）でみると、28年度は、製造業は前年比7.9%の増加見通し、非製造業は同17.6%の増加見通しとなっており、全産業では同14.9%の増加見通しとなっている。

雇用情勢 【改善している】

雇用情勢をみると、有効求人倍率は、引き続き上昇しており、過去最高となっている。新規求人数は、卸・小売業、建設業等で増加している。新規求職者数は、引き続き前年を下回っている。

住宅建設 【前年を上回っている】

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅や貸家の増加などから前年を上回っている。

公共事業 【前年度を上回っている】

公共事業を公共工事前払金保証請負金額（28年度累計）でみると、県、市町村で減少しているものの、国、独立行政法人等で増加していることから、前年度を上回っている。

輸出 【前年を下回っている】

輸出（円ベース）は、前年を下回っている。なお、輸入（円ベース）は、前年を下回っている。

企業収益 【28年度は減益見通し】

企業収益を法人企業景気予測調査（28年4～6月期）でみると、28年度の経常利益（「電気・ガス・水道業」及び「金融業、保険業」を除く）は、製造業は前年比8.9%の減益見通し、非製造業は同1.3%の減益見通しとなっており、全産業では同3.2%の減益見通しとなっている。

（その他項目）

- **企業の景況感**を法人企業景気予測調査（28年4～6月期）の景況判断BSIでみると、28年4～6月期は、引き続き「下降」超となっている。先行きについては、28年7～9月期は、「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- **企業倒産**の件数は、前年を下回っている。
- **消費者物価（福岡市）**は、このところ前年を下回っている。
- **貸出金残高**は、前年を上回っている。